

理美容甲子園 RIBIYO KOSHIEEN 2025

第17回 全国理容美容学生技術大会

国際文化生 5種目 7名が 東京地区大会 全国大会 出場



全国大会は11月13日(木)
シゲトーアリーナ岡山(岡山県岡山市)
にて開催予定



2025/09/03
@ ひがしんアリーナ



全国理容美容学生技術大会(愛称~理美容甲子園~)とは?

全国の理容美容学生の技術の向上を目指すための場、および理容美容学校の素晴らしさを啓発する場として、日本理容美容教育センター(全国の理容美容学校が集まって作られた内閣総理大臣認定の公益社団法人)が、理容美容合同で開催する全国規模の大会です。同大会は、全国11地区で地区大会を開催し、その地区大会によって選出された選手が全国大会へ進むことができます。本年度は、全国で約210校、約2,000人の選手が地区大会に出場しています。

「第17回全国理容美容学生技術大会 東京地区大会」は9月3日(水)、ひがしんアリーナ(墨田区総合体育館/東京都墨田区)にて開催されました。全国大会の出場枠は、各種目優秀賞受賞者2名のみ(美容ワインディングは3名)という狭き門でしたが、理容「ワインディング」「ミディアムカット」、美容「カット(グラデーションボブスタイル)」「まつ毛エクステンション」、ネイル「ネイルアート」の5種目で国際文化生7名が全国出場!! 優秀賞と敢闘賞あわせて計26名が入賞を果たしています。また事前に作品出品、大会当日に応募作品が展示されて賞が決定する「ヘアデザイン画」と「フォトコンテスト」の2部門でも優秀賞と敢闘賞あわせて計10名が入賞し、6作品6名が全国大会出品を果たしています。



理容美容の基礎技術を競う最大規模の学生技術大会 優秀賞と敢闘賞あわせて国際文化生 36 名が入賞しました

理容部門 第1種目 ワインディング

優秀賞 木村 華夏さん

国・理2 / 埼玉県立越谷南高等学校卒業



ワインディングはやればやるほど今まで見ていなかった所が見えるようになり、自身の技術の向上がはっきりと目に見える所が面白いです。全国大会ではノーミスで完璧に仕上げられるように練習を積み重ねていきます。

理容部門 第2種目 ミディアムカット

優秀賞 鳥越 頼さん

浜・理2 / 青森県立三沢高等学校卒業



絶対1位をとるんだと強く願い、毎日学校で練習してきました。先生方から的確なアドバイスをいただき、日に日に技術が向上していくのを実感。自分の作品、これまでの成果が評価されたことがなにより嬉しいです。

美容部門 第2種目 カット

優秀賞 須藤 杏さん

国・美2 / 青森県立青森東高等学校卒業



正確なカットによりきれいなグラデーションを表現することが大切で、特に毛束のシェイプや毛髪の水分量に注意しました。競技ではわずかなミスが減点につながります。本番は思った以上に上手くでき、優秀賞をいただくことができました。

美容部門 第4種目 まつ毛エクステンション

優秀賞 塩尻 遥菜さん

浜・美2 / 埼玉県立大宮南高等学校卒業



高校生になって初めてマツエクを体験し、マツエクで顔の印象がこんなに大きく変化するんだと驚き感動しました。細かい作業を淡々とこなすことが好きな私にはマツエクが一番合っているようです。卒業後はアイリストになります。

ネイルアート

優秀賞 秋山 真央さん

浜・美2 / 成蹊大学卒業



視覚的な「ツヤ」ではなく、女の人の「ツヤ」っぽさをデザインで表現したいと考え、思いを巡らせました。試行錯誤が続き、最終案が決定したのは8月後半。本番ギリギリでした。全国には仲間の思いも背負い挑みます。

理容部門 第1種目 ワインディング

優秀賞 平本 桃さん

浜・理2 / 東京都私立駒沢学園女子高等学校卒業



大会前日の朝までタイムギリギリでセンターもガタガタ、落ち込んでいましたが、姿勢を意識したら上手く巻けるようになりました。全国はもっと高いレベルでの闘いになると思いますが優勝目指してがんばります。

理容部門 第2種目 ミディアムカット

敢闘賞 石射 乃愛さん

国・理2 / 東京都立多摩高等学校卒業



ミリ単位の繊細な技術が面白く、大会に出場したいと思うようになりました。技術に集中すると距離が狭まり部分部分でしか見られなくなる傾向があるので、視野を広く保つことを意識して本番に臨みました。

美容部門 第2種目 カット

敢闘賞 高野 ちえみさん

国・美2 / 滋賀県立彦根西高等学校卒業



いろいろなことに興味が、何ごとにも積極的に取り組んでいます。やれることが増えるのは楽しく、コンテストの緊張感も好きです。心がけているのは何事も楽しんでやること。その方が断然成長できると思います。

美容部門 第4種目 まつ毛エクステンション

優秀賞 石田 緋和さん

浜・美2 / 東京都立王子総合高等学校卒業



母がアイリストということもありマツエクは私にとって身近な存在。本番では100%の力は出せなかったけれど全国出場を果たせし、練習を始めた頃を振り返ると格段に上手くなっていると思います。

ネイルアート

敢闘賞 長島 瑠愛さん

浜・美2 / 埼玉県立飯能高等学校卒業



“海”をモチーフに、海の輝き、水滴、人魚のウロコや瞳のツヤなどを表現しました。本番4日前までは“しずく”をモチーフに葉っぱなどを描いていましたがインパクトに欠け、思い切った直前にデザイン変更して良かったです。

理容部門 第1種目 ワインディング

敢闘賞 金山 東生さん

浜・理2 / 神奈川県立上溝高等学校卒業



去年、理容ワインディングに出場した森先輩への憧れもあり出場しました。残念ながら全国出場は叶いませんでしたが、今後もワインディングの練習を続けて、学園技術コンテストのワインディング部門優勝を目指します。

理容部門 第2種目 ミディアムカット

敢闘賞 大塚 悠輔さん

国・理2 / 東京都立坪井高等学校卒業



ミディアムカットは“ザ・床屋”的な技術が詰まったスタイルだと思います。僕はカットが大好きで、誰よりもハサミの開閉をしている自負があります。全国出場は叶いませんでしたが、今後も考えながら練習し続けます。

美容部門 第1種目 ワインディング

敢闘賞 藤本 菜々さん

浜・美2 / 東京都立豊多摩高等学校卒業



ワインディングの練習は一日空いたら如実に仕上がりに表れます。だからササードカットコンテスト当日も家に帰ってから全頭巻きました。その翌日が理美容甲子園本番、結果は敢闘賞。自分でもよく頑張ったと思います。

美容部門 第4種目 まつ毛エクステンション

敢闘賞 奈良 菜花さん

国・美2 / 東京都立農業高等学校卒業



着付やメイクも好きなので、マツエクをしている時が一番楽しいし、自分に合っていると思います。練習を始めた当初は未熟なところが多くありましたが、練習を重ねるうちに技術が自分に身についていくのを実感できました。

ネイルアート

敢闘賞 本田 佳乃さん

国・美2 / 東京都立富士森高等学校卒業



デザインは、共通テーマの「ツヤ」から、朝露、瞳、陽の光、シャボン玉をイメージして構成・表現しました。本番では、トップコートを塗る時に絵の具を擦ってしまおうというミスをしたのですが、概ね上手くできたと思います。

理容部門 第1種目 ワインディング

敢闘賞 五十嵐 沙羅さん

国・理2 / 埼玉県立秩父農工科学高等学校卒業



出場が決まってからは、平日はもちろん、夏休みも学校に来て、練習しました。練習を始めた頃はロッドのおさがりが悪くガタガタな仕上がりがでしたが、練習をすればするほど上手くなっていくのを実感できました。

理容部門 第2種目 ミディアムカット

敢闘賞 長谷川 華菜愛さん

浜・理2 / 埼玉県立和光高等学校卒業



クリッパーの入れ方や直ハサミの当て方を間際に変更したりと、大会直前まで迷走していました。そんな状態だったので入賞できるとは思いませんでした。表彰式で周りの皆と一緒に喜んでくれたのが嬉しかったです。

理容部門 第3種目 クラシカルバック

敢闘賞 藤川 心緒さん

国・理2 / 東京都立城東高等学校卒業



本番では楽しく技術ができ、いつも通りに仕上げることができました。しかし上には上がいました。大会上位作品のクオリティは高く、自分はまだまだと納得させられました。自分の実力不足、それが一番悔しかったです。

美容部門 第4種目 まつ毛エクステンション

敢闘賞 渡部 愛莉紗さん

国・美2 / 山形県私立山形学院高等学校卒業



一緒に練習してきた奈良さんに感化され、私も黙々と練習を積み重ねることができました。毎回の練習の成果を写真におさめているのですが、練習を始めた頃と現在を見比べるとその差は歴然、技術が確実に身についています。

ネイルアート

敢闘賞 廖 語晨さん

浜・美2 / 神奈川県立神奈川総合産業高等学校卒業



“両生類”をモチーフに、カエルや目玉、手先などのパーツで構成し、そのメロリやツヤ感をカラフルな色彩で表現しました。本番では緊張で手が震えながらも細かなドットもきれいに描けたのは、日々の練習の成果だと思います。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 箕川 結奈さん

浜・美2 / 埼玉県立西武台高等学校卒業



アップヘアを学びたくて国際文化に入学、課外授業も受講しています。その甲斐あって理美容甲子園の渋谷校代表になれました。本番ではこの1ヶ月やってきたことが発揮できたと思います。とても貴重な経験ができました。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 滝沢 杏珠さん

国・美2 / 埼玉県川口市立川越高等学校卒業



作品のデザインは草花と蝶々をイメージ。毛先の羽根の部分を広げず葉っぱみたいに整えたり、自分なりのこだわりを詰め込みました。夏休みは、学校で練習するカバトするか、休みゼロで頑張りました。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 竹山 莉央さん

浜・美2 / 埼玉県立川ヶ谷高等学校卒業



他の作品と被りたくなくて、“黒”をテーマカラーに選びました。ヘアカットやカラーが好きで、アップはそれほど得意ではなかったのですが、練習すればした分だけできるようになるのが楽しかったです。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 木嶋 花さん

浜・美2 / 文化学園大学卒業

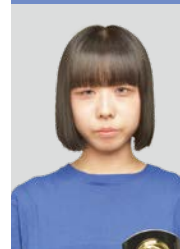


アップヘアの技術が好きなので、アップの競技がある大会の中でも一番大きい理美容甲子園に出場することに。本番はあまり上手くできず意気消沈していたので、自分の番号を呼ばれても気づかなかったでした。

ネイルアート

敢闘賞 平山 彩夏さん

国・美2 / 東京都立福生高等学校卒業



“かぐや姫”をイメージ、十二単、竹、垂髪などを描きました。本番は緊張して手が震えましたが、集中して取り組むことができ、想定よりも早くアート部分を完成することができ、トップコートを2回塗ることができました。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 佐藤 優花さん

国・美2 / 北海道下川商業高等学校卒業



この競技はその見た目からクリエイティブで特別な技術が必要と思われがちですが、実は「とかす」「まとめる」「ゆわく」など基本技術の集合で形作られています。練習を通してアップの基礎をとことん学ぶことができました。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 須藤 杏さん

国・美2 / 青森県立青森東高等学校卒業



作品のデザインは草花と蝶々をイメージ。毛先の羽根の部分を広げず葉っぱみたいに整えたり、自分なりのこだわりを詰め込みました。夏休みは、学校で練習するカバトするか、休みゼロで頑張りました。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 藤川 心緒さん

国・理2 / 東京都立城東高等学校卒業



本番では楽しく技術ができ、いつも通りに仕上げることができました。しかし上には上がいました。大会上位作品のクオリティは高く、自分はまだまだと納得させられました。自分の実力不足、それが一番悔しかったです。

美容部門 第3種目 アップスタイル

敢闘賞 木嶋 花さん

浜・美2 / 文化学園大学卒業



アップヘアの技術が好きなので、アップの競技がある大会の中でも一番大きい理美容甲子園に出場することに。本番はあまり上手くできず意気消沈していたので、自分の番号を呼ばれても気づかなかったでした。

ネイルアート

敢闘賞 平山 彩夏さん

国・美2 / 東京都立福生高等学校卒業



“かぐや姫”をイメージ、十二単、竹、垂髪などを描きました。本番は緊張して手が震えましたが、集中して取り組むことができ、想定よりも早くアート部分を完成することができ、トップコートを2回塗ることができました。

「ヘアデザイン画」「フォトコンテスト」 2部門で、優秀賞、敢闘賞合わせて10名が入賞!! 6名が全国大会出品を果たしました



「ヘアデザイン画」 優秀賞 鈴木 優衣奈 国・美2 / 埼玉県立大宮光陵高等学校卒業 敢闘賞 木村 瞭介 浜・美2 / 埼玉県立川口東高等学校卒業

「フォトコンテスト」 優秀賞 照井 楓菜 浜・美1 / 神奈川県立座間総合高等学校卒業 優秀賞 竹森 夢多 浜・美1 / 東京都私立角川ドワンゴ学園S高等学校卒業 優秀賞 須井 愛結 浜・美1 / 東京都立大泉高等学校卒業 優秀賞 宮谷 舞 浜・美1 / 神奈川県立藤沢清流高等学校卒業 優秀賞 井手 歩夢 浜・美2 / 佐賀県立佐賀工業高等学校卒業 敢闘賞 花木 優 浜・美1 / 東京都立杉並総合高等学校卒業 敢闘賞 輪嶋 聖良 浜・美2 / 神奈川県立相模原総合高等学校卒業 敢闘賞 鷲見 里杏 浜・美1 / 東京都立大崎高等学校卒業



本学 HP ではさまざまなコンテストの結果や作品写真等を紹介しています



国際文化学園 検索